

歯科医院に通いたくなくなる理由 ワースト10	
1位	歯科医師の技術に疑問を感じた時
2位	治療が痛かった時
3位	治療の説明が不十分な時
4位	治療がうまくいかなかった時
5位	受付やスタッフの対応が悪いと感じた時
6位	治療期間が想像以上に長期にわたる時
7位	不必要的治療をされた時、されようとした時
8位	歯科医師の愛想が悪いと感じた時
9位	治療費が思ったよりも高額だった時
10位	治療期間が不明確な時

※主に上位にくる内容は、患者さんに不安を抱かせるものです。

安全といつて、まずはサービスを提供する。それでも安全を保つことは、医療界で安全を揺るがす二側面です。医療倫理に欠けていたり、医療技術に問題がある場合は、必ずしも治療にはいりやすくなります。安心感を保つためには、まず医療の説明が明確で、治療の手順が理解できることが大切です。また、治療料金が適切であることも、安心感につながります。ただし、治療料金が高すぎると、患者さんは満足感を感じづらいことがあります。そのため、治療料金を適切に設定することが重要です。

揺らぐ「安全神話」

医療への満足感は “不安なし”が大前提

安全といつて、まずはサービスを提供する。でも安全を保つことは、医療界で安全を揺るがす二側面です。医療倫理に欠けていたり、医療技術に問題がある場合は、必ずしも治療にはいりやすくなります。安心感を保つためには、まず医療の説明が明確で、治療の手順が理解できることが大切です。また、治療料金が適切であることも、安心感につながります。ただし、治療料金が高すぎると、患者さんは満足感を感じづらいことがあります。そのため、治療料金を適切に設定することが重要です。

もう5年前になりますが、マンションの耐震化問題や常にニュースになっている食の安全問題など、さまざまな分野で安全性が問われています。医療界でも安全を保つことは、医療倫理に欠けていたり、医療技術に問題がある場合は、必ずしも治療にはいりやすくなります。安心感を保つためには、まず医療の説明が明確で、治療の手順が理解できることが大切です。また、治療料金が適切であることも、安心感につながります。ただし、治療料金が高すぎると、患者さんは満足感を感じづらいことがあります。そのため、治療料金を適切に設定することが重要です。

大人のための歯科講座 (歯科治療の新潮流)

=③=

ルーセントデンタル
クリニック副院長
後藤 英夫



〈略歴〉 1998年、東京医科大学歯学部卒業。名古屋大学医学部遺伝子再生医療センター医員、国立長寿医療センター歯科口腔外科勤務などを経て、2008年からルーセントデンタルクリニック副院長。

メイカルニュース

当院の副院長 後藤英夫が、中部経済新聞「MEDICAL NEWS」にて、毎月第一木曜日に「大人のための歯科講座」を執筆連載しております。